

【平成22年度三重県農村青少年意見発表会開催】

11月26日（金）に、三重県農村青少年クラブ連絡協議会の主催により、県農業大学校を会場に「三重県農村青少年意見発表会」が開催されました。これは、日頃の営農や生活、地域活動など、自らの体験を通じて得られた意見や農業の将来へ向けた提言等について発表してもらうものです。発表会には、クラブ員17名、関係者11名が集まりました。

発表では、伊勢志摩地区の稲作農家の村林さん、伊賀地区の畜産農家の奥田さん、紀州地区の農業法人に従事する中岡さんの3名が、それぞれの想いや体験を発表しました。

発表会の後には、デジタルメディア研究所の亀田氏を講師に招き、「情報発信・活用の基礎知識」にかかるセミナーを聴講しました。

審査の結果、伊賀地区の奥田さんが、三重県農林水産支援センター理事長賞に選ばれました。奥田さんは、「Japanism Agriculture ～名張から日本農業の元気を取り戻せ！～」と題して、食育や障害者雇用など、意欲的な取組内容を軽快な語り口で披露し、高い評価を得ました。奥田さんには、12月21日に愛知県で開催される「東海ブロック農村青少年会議」において、三重県代表として発表を行っていただきます。

今回の発表内容をさらにブラッシュアップして、いっそう素晴らしい発表となることを期待しています。



（会場の様子）



（受賞した奥田さんの発表）